

# 平成27年度 事務事業点検評価報告書

平成 28 年 8 月

舞鶴市教育委員会

## 目 次

1	事務事業の点検評価の趣旨	1
2	点検評価の概要	1
3	各事業の評価	3
4	教育委員会活動の概要	1 4

## 1. 事務事業の点検評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について評価委員による点検及び評価を行い、その結果について公表しなければならないことと定められています。

この度、平成 27 年度に執行した事務事業について、評価委員による点検及び評価を行いました。

この結果を踏まえ、事業の必要性、有効性、効率性の検討を行い、今後より一層充実した事業の推進に努めてまいります。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検評価の概要

舞鶴市教育委員会の権限に属する平成 27 年度の主な事務事業について、事業の目的、内容、成果等について評価委員が下記の評価の視点に基づき、評価を行ったものです。

### (1) 実施日

平成 28 年 8 月 1 日 (月)

### (2) 評価委員

(敬称略)

所 属 団 体 等		氏 名
高等教育機関代表	京都府立東舞鶴高等学校 校長	北 川 鯉 平
幼児教育機関代表	舞鶴市私立幼稚園協会 会長 ひばり幼稚園 理事長	松 嶋 康 晴
保 護 者 代 表	舞鶴市 P T A 連絡協議会 会長	布 川 博 康

### (3) 点検評価事業

No	事業名	担当課
1	小中一貫教育推進事業費	教育企画課
2	夢チャレンジサポート事業費	学校教育課
3	特色ある教育活動支援事業費補助金	
4	特別支援教育支援員設置経費	
5	英語指導助手（AET）設置経費	
6	いじめ・不登校対策経費	
7	学校給食運営経費	教育総務課
8	校舎等増改築事業費	
9	施設整備事業費（小・中学校）	
10	幼児教育・保育の質向上推進事業費	幼稚園・保育所課

### (4) 評価の方法

#### ① 評価の視点

点検評価では、各事業の評価を行うにあたり、次の視点で評価委員に考察、評価を行っていただきました。

区分	視点
必要性	市民ニーズや社会情勢に適合しているか。市が事業を担う必要があるか。
有効性	事業目的に照らして、効果が表れているか。
効率性	実施方法などについて成果に見合ったコストになっているか。

#### ② 評価判断基準

評価は「必要性」「有効性」「効率性」について、各評価委員に次のとおり5段階で評価いただき、その平均を点数化しました。

	5	4	3	2	1
必要性					
有効性	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
効率性					

### 3 各事業の評価

教育委員会の事務事業の点検評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	小中一貫教育推進事業費	担当課	教育企画課	事業No	1
事業費 (H27決算)	673 千円	財源内訳	一般財源 国府補助金等	673 千円 0 千円	
教育振興 大綱の 該当項目	<p>1 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進</p> <p>2 子どもを育てる教育環境の充実</p> <p>3 ふるさとを愛する教育の推進</p> <p>4 地域社会で支える教育と子育て支援の充実</p> <p>5 心豊かな生涯学習の推進</p> <p>切れ目ない教育の推進</p>				
事業目的	義務教育9年間を連続した期間と捉え、児童生徒の発達の段階に応じた一貫性のある学習指導・生徒指導を行うとともに、教職員や児童生徒が連携・交流を深めることにより、小学校と中学校が協働して系統的・継続的な教育を推進することで、子どもの学力向上や学校生活への適応(中1ギャップの解消)等を目指す。				
事業内容	<p>本市独自の小中一貫教育の導入を目指し、下記の内容を実施。</p> <p>1. 平成26年度の「舞鶴市小中一貫教育在り方検討会議」からの提言を踏まえ、「舞鶴市小中一貫教育基本方針」を策定。</p> <p>2. 現行の学習指導要領の中で、舞鶴市版「標準カリキュラム」を作成。</p> <p>3. 平成28年度から導入を開始するため、モデル校区を指定。</p> <p>4. 先行他市への視察等による研修を実施。</p>				
今年度の取組成果 達成状況	<p>1・2については計画どおり策定・作成できた。</p> <p>3については城北中学校区と加佐中学校区をモデル校区に指定した(保護者・地域への説明会も合わせて実施)。</p> <p>4については先進地視察(姫路、奈良、三条)のほか、先進地校長による教職員対象の講習を実施。</p>				
課題	モデル校区における成果や課題を把握・整理し、円滑に進むよう市教育委員会としてサポートしていく必要がある。また、他の中学校区においても早期に導入できるよう取り組んでいく。				
今後の方向性	平成30年度までの全市導入を目指す。				
評価委員による 事業の評価	必要性	評価点数	4.3		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>義務教育を流れで考えていくことは大変重要なことである。</li> <li>今後もより良い方向へと研究を進めるべきと思う。</li> <li>児童生徒の状態を把握し、教職員の負担にならないよう研究と検討を重ねることが必要である。</li> <li>未実施校にも取組の周知が必要である。</li> </ul>			
	有効性	評価点数	3.7		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効性として具体的な面は見えないが、やり方次第で今後に期待できると思う。</li> <li>計画・研究段階であり、効果进行评估する段階ではない。</li> <li>中身が見えていないので評価しにくい。</li> </ul>				
	効率性	評価点数	3.7		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育的効果が上がることに期待したい。</li> <li>妥当なコストである。</li> </ul>				

教育委員会の事務事業の点検評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	夢チャレンジサポート事業費	担当課	学校教育課	事業No	2	
事業費 (H27決算)	20,926 千円	財源内訳	一般財源	16,926 千円		
			国府補助金等	4,000 千円		
教育振興 大綱の 該当項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進</li> <li>2 子どもを育てる教育環境の充実</li> <li>3 ふるさとを愛する教育の推進</li> <li>4 地域社会で支える教育と子育て支援の充実</li> <li>5 心豊かな生涯学習の推進</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個性を伸ばし夢をかなえる学校教育の充実</li> <li>・ふるさと学習の推進</li> </ul> </div>					
事業目的	子どもたちの夢を育み、その夢の実現を支え、将来、社会に貢献できる人材に育成するために、学力向上に向けた支援を行う。					
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学力チャレンジ…生徒の学力状況を把握し、学習改善につなげるとともに生徒が自分の学力を把握し進路実現に活かすため、中学校で統一の学力診断テストを実施。(全学年)</li> <li>2. 検定チャレンジ…舞鶴在住の中学生を対象に英語検定料を補助。(4・5級は1,000円定額補助、3級以上は全額補助)</li> <li>3. 夢講演会…生徒が将来の夢を考えるきっかけとするため、外部講師による講演会を実施。</li> <li>4. 夢サポート事業…各学校の学力向上、教職員の資質の向上等の取組や学校風土、地域風土に応じた特色のある教育活動を支援。</li> <li>5. 学習サポーターの配置…学力診断テストを活かした学力・学習状況の把握・分析に基づき、個に応じた効果的な学習指導を図るため、教員OB等による支援員(サポーター)を配置し、きめ細かな対応。</li> <li>6. 教育委員会の学力向上に向けた取組みについて、外部有職者から意見を聴くため、アドバイザーを設置。</li> </ol>					
今年度の 取組成果 達成状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学力チャレンジ…舞鶴市統一学力診断テスト(夢チャレンジテスト・5教科) 市内7中学校 全学年 2,408名が受験 ※順位の開示を希望した保護者 … 73.1%</li> <li>2. 検定チャレンジ…英語検定(6月、10月、1月) 計 714名受験 &lt;合格者&gt; 2級 1名、準2級 15名、3級144名、4級183名、5級159名、計 502名</li> <li>3. 夢講演会…全校実施 11講演</li> <li>4. 夢サポート事業…各学校ごとに取組を実施</li> <li>5. 学習サポーターの配置…支援員(サポーター)14名を配置</li> <li>6. 学力向上アドバイザー…学力向上アドバイザー会議の開催 1回</li> </ol>					
課題	全ての生徒が将来の夢や目標を持つとともに、その実現へ向け、学習意欲を高めることが必要					
今後の 方向性	子どもたちの夢を育み、学習意欲を高めるため、英語検定以外の検定(小学校での漢字検定、中学校での数学検定等)も検討する。舞鶴市統一学力診断テストにより学力定着状況を把握し、指導改善に活かしていく。					
評価委員による 事業の評価	必要性	評価点数	4.7			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かに挑戦する力を育むために必要である。</li> <li>・学力だけでなく、勉強が楽しくなる環境づくりも必要である。</li> <li>・大事な時期の基礎学力を知ることができるので良い。</li> </ul>				
		有効性	評価点数	4.3		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果をしっかりと分析し、共有することが大切である。</li> <li>・知・徳・体のバランスを向上させる研究・検討が必要である。</li> <li>・検定チャレンジは努力する機会があることは良いと思う。学校としても積極的な取組を促していけると良い。</li> </ul>					
	効率性	評価点数	4.3			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果、効果に見合ったコストになっている。</li> <li>・サポーターを有効に活用してテスト後の学習につなげることが必要である。</li> </ul>				

教育委員会の事務事業の点検評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	特色ある教育活動支援事業費補助金 (小・中学校)	担当課	学校教育課	事業No	3
事業費 (H27決算)	7,281 千円	財源内訳	一般財源 国府補助金等	6,665 千円 616 千円	
教育振興 大綱の 該当項目	1 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進 2 子どもを育てる教育環境の充実 3 ふるさとを愛する教育の推進 4 地域社会で支える教育と子育て支援の充実 5 心豊かな生涯学習の推進  ふるさと学習の推進				
事業目的	地域の方々などの協力のもと、地域に根ざした特色ある学校づくりや教育活動を推進するための支援を行うとともに、豊かな体験活動を実施し、「生きる力」の核となる「豊かな人間性」を育てるとともに、本市の特色ある歴史や豊かな自然について学び、「ふるさと舞鶴」への愛着を育む。				
事業内容	1. 教育活動支援事業 地域の方々などの協力による特色ある教育活動を支援。 小学校6年生の社会科学習で引揚記念館を見学する「ふるさと学習」を実施。 2. 地域ふれあい体験活動事業 職場体験(小学4年生、中学2年生)、世代間交流、福祉職場体験、農業体験、伝統的文化活動など通年の教育活動として体験活動を実施。				
今年度の 取組成果 達成状況	1. 教育活動支援事業 総合的な学習の時間、体験活動、野外活動、クラブ活動、部活動等において、地域の方々との協力のもと特色ある教育活動の支援を実施した。 2. 地域ふれあい体験活動事業 地域や学校の実態に応じて創意工夫し、職場体験(小学校では仕事についての学習や体験活動を含む)、農業体験など通年の教育活動として体験活動を実施した。 小・中学校での地域人材等による取組や、全校で実施の小学5年生の野外活動、6年生の「引揚の歴史を学習するふるさと学習」、中学2年生の職場体験活動など、特色ある教育活動を通して、ふるさと舞鶴を愛するふるさと学習の推進を行うとともに、豊かな人間性の育成を図った。				
課題	ふるさと学習に協力いただける幅広い地域人材の発掘。				
今後の 方向性	「豊かな人間性」を育てる「心の教育」の充実を図るため、引き続き、学校現場のニーズに応え、特色ある教育活動を支援していく。				
評価委員による 事業の評価	必要性	評価点数	4.0		
		・体験活動を通して子供は大きく成長するので必要である。 ・郷土愛、豊かな人間性、心の教育の充実は必要である。 ・ふるさと学習はすばらしい取組である。			
	有効性	評価点数	4.0		
	・押しつけ的な活動にならないよう工夫が必要。 教育活動や地域活動につながっている。 ・教育活動、地域のふれあい活動の成果が上がっている。 ・東西での事業所規模の違いがあるので、校区にとらわれずに広い規模での実施も一考する必要がある。				
	効率性	評価点数	3.7		
	・この事業目的の成果は長い期間で見ることが肝要であり、コスト面での短絡的な判断は避けるべきである。 ・各機関と連携をして、様々な方面からの意見を取り入れて、将来の人材育成を考えてもらいたい。				



教育委員会の事務事業の点検評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	特別支援教育支援員設置経費 (小・中学校)	担当課	学校教育課	事業No	4
事業費 (H27決算)	31,085 千円	財源内訳	一般財源	31,085 千円	
			国府補助金等	0 千円	
教育振興 大綱の 該当項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進</li> <li>2 子どもを育てる教育環境の充実</li> <li>3 ふるさとを愛する教育の推進</li> <li>4 地域社会で支える教育と子育て支援の充実</li> <li>5 心豊かな生涯学習の推進</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">個性を伸ばし夢をかなえる学校教育の充実</div>				
事業目的	通常学級、特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対し、適切な教育的支援を行う。				
事業内容	支援員の配置 ・小学校15校・26名 ・中学校6校・12名				
今年度の 取組成果 達成状況	年度当初、教育上特別な支援を必要とする児童生徒は、小学校は18校に418名、中学校は7校に210名が在籍。これら児童生徒に適切に対応するため、小学校15校に26名、中学校6校に12名の特別支援教育支援員を配置。 通常学級、特別支援学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒の個々の教育的ニーズに応える特別支援教育の充実に努めた。				
課題	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が年々増える傾向に併せて、支援員の配置も増加しており、支援員の確保が課題となっている。今後、特別支援教室構想(通常の学級に在籍した上で障害に応じた教科指導や障害に起因する困難の改善・克服のための指導を必要な時間のみ特別の場で行う形態)についても、検討する必要がある。				
今後の 方向性	今後とも、通常学級、特別支援学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、支援員を配置し、適切な教育(支援)を推進していく。				
評価委員による 事業の評価	必要性	評価点数	5.0		
		・学習支援を必要とする生徒は今後も増えると思われるので、一層の充実が必要。 ・今後ますます必要になっていく事業である。 ・画一的な教育よりも、柔軟に必要としている子供に沿った教育は必要である。			
	有効性	評価点数	4.0		
		・支援員の配置も大切だが、現職の研修も必要。 ・課題が多く、研究・検討が必要である。 ・きめ細かい指導をお願いしたい。			
	効率性	評価点数	3.7		
		・今後も事業費の増が必要である。 ・事業経費は今後ますます増加するであろう。			

教育委員会の事務事業の点検評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	英語指導助手(AET)設置経費	担当課	学校教育課	事業No	5
事業費 (H27決算)	33,567 千円	財源内訳	一般財源 国府補助金等	16,867 千円 16,700 千円	
教育振興 大綱の 該当項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進</li> <li>2 子どもを育てる教育環境の充実</li> <li>3 ふるさとを愛する教育の推進</li> <li>4 地域社会で支える教育と子育て支援の充実</li> <li>5 心豊かな生涯学習の推進</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">グローバル化社会に対応する教育の推進</div>				
事業目的	<p>今後、ますます進展する国際社会を豊かに生き抜くことができる児童生徒を育成するため、小中学校の各段階を通じて英語教育を充実させ、国際理解教育を推進する。</p> <p>また、平成25年度から小学校3年生以上に拡大された英語教育において、小学校中学年ではコミュニケーション能力の素地を養い、高学年では初歩的な英語の運用能力を養い、中学校では身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる能力を養うことを目標に、AETの配置を行い英語力向上を目指す。</p>				
事業内容	<p>AET7名を配置し、小学校3～6年生を対象とした英語活動及び中学校英語科の授業で指導助手を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語授業の補助(発音指導・ヒアリング指導等)・英語教材作成の補助</li> <li>・英語担当教員に対する研修・小学校英語活動・国際理解教育 他</li> </ul>				
今年度の 取組成果 達成状況	<p>外国人から直接生きた英語を学ぶことができ、また、その出身国の状況等を理解する上で大変意義のある英語教育の充実並びに国際理解教育の一層の推進が図れた。(学校訪問 延べ1,439回)</p>				
課題	<p>できるだけ早い時期から「英語」の発声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養い、中学校卒業段階で英検3級程度の英語力を身につけさせるという文科省の目標に近付くため、英語担当教員の指導力向上や人的配置など事業の充実が求められる。</p>				
今後の 方向性	<p>国において、小学校5・6年生の英語の教科化が検討されており、英語教育の充実と国際理解を推進していく必要がある。</p>				
評価委員による 事業の評価	必要性	評価点数	4.3		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校5年生からの導入も鑑み、必要性を強く感じる。</li> <li>・港まち舞鶴としては必要な事業である。</li> <li>・交流都市を目指している本市において、語学は大切なツールである。クルーズ船の寄港時にも、生徒と共に活動などしても良いのではないか。</li> </ul>			
	有効性	評価点数	3.3		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校1名配置でないと、なかなか有効性という点では期待できない。</li> <li>・少しずつ成果は上がっている。</li> <li>・AETを活用し、英語キャンプなど教室だけでなく野外の活動などでもっと楽しく英語にふれれば良い。</li> </ul>			
	効率性	評価点数	3.3		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調整が必要である。</li> <li>・資質の高いAETの有効活用を進めていく必要がある。</li> </ul>			

教育委員会の事務事業の点検評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	いじめ・不登校対策経費	担当課	学校教育課	事業No	6
事業費 (H27決算)	18,206 千円	財源内訳	一般財源 国府補助金等	18,040 千円 166 千円	
教育振興 大綱の 該当項目	<p>1 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進</p> <p>2 子どもを育てる教育環境の充実</p> <p>3 ふるさとを愛する教育の推進</p> <p>4 地域社会で支える教育と子育て支援の充実</p> <p>5 心豊かな生涯学習の推進</p> <p>・個性を伸ばし夢をかなえる学校教育の充実</p> <p>・心身ともに健全な子どもの育成</p>				
事業目的	<p>心理的要因等により不登校となっている児童生徒に対し、学校生活への復帰と社会的自立を支援するため、学校と教育支援センター(名称:明日葉(あしたば))が連携し、集団生活への適応や情緒の安定、学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・適応指導を行う。</p> <p>また、いじめ問題については、いじめ防止、早期発見、早期対応を図るとともに、いじめ相談室を併設し、いじめ相談ダイヤル等により、きめ細かな相談・対応を行う。(平成16年度に「教育支援センター」を設置、平成25年度に「いじめ相談室」を併設)</p>				
事業内容	<p>1. 教育支援センター(明日葉)の概要</p> <p>(1) 事業内容 適応指導、学習指導、訪問指導、教育相談、いじめ相談等</p> <p>(2) 場 所 メディカルセンター3階</p> <p>(3) 子ども相談員 3名、臨床心理士 1名、いじめ相談員 2名</p> <p>2. チャレンジアウトドアライフ事業の実施</p> <p>不登校児童生徒を対象とした野外体験活動の実施</p> <p>3. いじめ相談センターの概要</p> <p>いじめ相談員2名 いじめ相談ダイヤル開設</p>				
今年度の 取組成果 達成状況	<p>1. 教育支援センターでの適応指導、学習指導、訪問支援、教育相談等の取組</p> <p>来所相談(462件)電話相談(1,131件)家庭訪問(280件)訪問支援(13件)はがき支援(232件)</p> <p>2. チャレンジアウトドアライフの実施(延べ 18名参加)</p> <p>太秦映画村での野外活動、グリーンスポーツセンター・若狭湾青少年自然の家での宿泊野外活動</p> <p>長期欠席している児童生徒が学校復帰や高校進学に向け、通級し目標を達成するなど、「明日葉」に通級等している児童生徒23名(小学11名、中学12名)のうち、学校へ復帰した児童生徒が21名(小学校10名、中学校11名)となった。</p> <p>3. いじめ相談室の相談状況</p> <p>電話相談104件、来所相談25件</p>				
課題	<p>人間関係づくりに時間を要し、また、個別の状況に応じた対応が必要なため、経験豊かな相談員が児童生徒と信頼関係を築く中で取り組む必要がある。</p>				
今後の 方向性	<p>明日葉やいじめ相談室の活動を通して、不登校の解決といじめ相談の充実を目指す。また、学校でいじめや嫌なことがあっても先生や友だちに相談できない子どもたちや、子どものことで悩んでいる保護者に対し、1人で悩まずに電話相談できる体制の充実を図る。</p>				
評価委員による 事業の評価	必要性	評価点数	5.0		
		<p>・今後も事業の充実が必要である。</p> <p>・大切な事業である。</p> <p>・様々な要因で悩んでいる子供を支援することは必要である。</p>			
	有効性	評価点数	4.0		
	<p>・色々な取組で救われる生徒がいると思う。</p> <p>・カウンセリングばかりに頼るのではなく、教育力・学校力・クラス力を高めていく工夫が必要である。</p> <p>・いじめ相談の内容を保護者にも開示して家庭においてもいじめについて考えられるようにすれば良い。</p>				
	効率性	評価点数	4.3		
	<p>・成果に見合ったコストである。</p> <p>・一人ひとりの子供の将来、未来を救うことができる事業であり、事業費増が必要である。</p> <p>・大切な時期に一人でも多くの子供を助けることが必要である。</p>				

教育委員会の事務事業の点検評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	学校給食運営経費(小・中学校)	担当課	学校教育課	事業No	7
事業費 (H27決算)	416,281 千円	財源内訳	一般財源 国府補助金等	416,281 千円 千円	
教育振興 大綱の 該当項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進</li> <li>2 子どもを育てる教育環境の充実</li> <li>3 ふるさとを愛する教育の推進</li> <li>4 地域社会で支える教育と子育て支援の充実</li> <li>5 心豊かな生涯学習の推進</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">心身ともに健全な子どもの育成</div>				
事業目的	安心・安全で栄養バランスのとれた魅力ある給食を全小・中学校で実施する。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校全18校に栄養士を配置し、自校調理方式により給食を実施</li> <li>2. 中学校全7校でスクールランチ方式による給食を実施</li> <li>3. 地場産野菜、舞鶴産水産物・舞鶴産コシヒカリなど、地元産の安全な食材を使用</li> <li>4. 食育の推進</li> </ol>				
今年度の 取組成果 達成状況	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理食数 延922,772食(H27.5.1児童数 4,652人他)</li> <li>・地場産物(万願寺甘とう、舞鶴のさかな等)についての食育授業</li> <li>・食物アレルギー児童(152名)への対応</li> </ul> <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理食数 延446,495食(H27.5.1生徒数 2,461人他)</li> <li>・教育委員会の栄養士が献立を作成</li> <li>・食物アレルギー生徒(80名)への対応</li> <li>・「食育だより」を月1回発行し、各校へ配布(ホームページで公表)</li> <li>・アンケート実施</li> </ul>				
課題	年々、増加するアレルギー児童・生徒の除去食等の確実な対応と中学校での食育指導の充実が必要である。				
今後の 方向性	今後とも、引き続き、安心・安全で地産地消を積極的に取り入れた魅力のある給食の提供に努める。				
評価委員による 事業の評価	必要性	評価点数	4.7		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の貧困対策、親の教育無関心には必要な事業である。</li> <li>・必要な事業である。</li> <li>・心身ともに食から健全な子供が育つと考える。</li> </ul>			
	有効性	評価点数	4.7		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育という点でも有効であり、効果はある。</li> <li>・アレルギー児童生徒の対応が増加していく傾向にあり、研究・検討を重ねていくべきである。</li> <li>・偏食にならないように考えていただいて、家庭は助かっていると思う。</li> </ul>			
	効率性	評価点数	4.3		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果に見合ったコストである。</li> <li>・1学期に1回、お弁当(手作り)の日を作ってもいいと思う。子供と一緒に作った物を具材にして楽しく学校で食べてもいいかも。</li> </ul>			

教育委員会の事務事業の点検評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	校舎等増改築事業費	担当課	教育総務課	事業No	8
事業費 (H27決算)	74,468 千円	財源内訳	一般財源 地方債 国府補助金等	14,127 千円 38,800 千円 21,541 千円	
教育振興 大綱の 該当項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進</li> <li><b>2</b> 子どもを育てる教育環境の充実</li> <li>3 ふるさとを愛する教育の推進</li> <li>4 地域社会で支える教育と子育て支援の充実</li> <li>5 心豊かな生涯学習の推進</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     学校等における教育環境の充実                 </div>				
事業目的	小・中学校における校舎・設備等の整備を行い、安心・安全で豊かな教育環境の充実を図る。				
事業内容	志楽小学校の平成28・29年度の入学予定者の増加に備えた校舎増築等による環境整備を実施				
今年度の 取組成果 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志楽小学校校舎増築工事(鉄骨造2階建、普通教室2教室)の施工</li> <li>・関連工事(中庭アスファルト舗装、遊具の移設及び復旧、昇降口改修、非常階段格子手摺設置)</li> <li>・児童用机・椅子、教師用机・椅子、配膳台等の購入</li> </ul>				
課題	給食室の配膳棚についても不足が見込まれるため、平成28年度において整備を行う。				
今後の 方向性	学級数の増加は当該2学年児童の在籍中に限ると見込まれるが、将来的には普通教室を特別教室等として活用する。				
評価委員による事業の評価	必要性	評価点数	4.0		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全を考えたとき、必要な事業。将来を見据えた計画を希望する。</li> <li>・安心安全な教育環境を整備することは必要であり、大切な事業である。</li> <li>・今後の人口グラフを地域ごとに見据えて増改築を検討する必要がある。</li> </ul>			
	有効性	評価点数	4.0		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も整備を続けてほしい。</li> <li>・少しずつ整備され、効果は現れている。</li> <li>・必要に応じて対応することになる。</li> </ul>			
	効率性	評価点数	3.7		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の経費が心配である。</li> <li>・経費はいくらあっても足りないと思う。</li> </ul>			

教育委員会の事務事業の点検評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	施設整備事業費(小・中学校)	担当課	教育総務課	事業No	9
事業費 (H27決算)	77,548 千円	財源内訳	一般財源 地方債 国府補助金等	53,248 千円 24,300 千円 0 千円	
教育振興 大綱の 該当項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進</li> <li><b>2</b> 子どもを育てる教育環境の充実</li> <li>3 ふるさとを愛する教育の推進</li> <li>4 地域社会で支える教育と子育て支援の充実</li> <li>5 心豊かな生涯学習の推進</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     学校等における教育環境の充実                 </div>				
事業目的	児童生徒の安全を守り、安心して豊かな教育環境を整備する。				
事業内容	老朽化した校舎や設備の改修、教育環境充実のための施設整備				
今年度の 取組成果 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎屋上防水改修工事(大浦小・池内小・若浦中)</li> <li>・大浦小バス待合所改築</li> <li>・小学校遊具改修(11校)</li> <li>・各校改修工事及び修繕(420件)</li> </ul>				
課題	今後経年劣化していく学校施設が増加するため、改修等に要する事業費の確保が必要				
今後の 方向性	舞鶴市全体の取組である市有建築物の点検マニュアルに沿って施設点検を行い、不具合箇所を早期発見することで、最小限のコストで健全な状態の維持に努める。また、大規模な改修については、国の動向を睨みながら財源を確保し、事業計画に従い実施する。				
評価委員 による 事業の 評価	必要性	評価点数	4.7		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して学べる環境づくりは重要である。</li> <li>・安心安全な教育環境を整備することは必要であり、大切な事業である。</li> <li>・洋式トイレの設置を優先に進めてほしい。</li> </ul>			
	有効性	評価点数	4.3		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備は進んでいると思う。</li> <li>・少しずつ整備され、効果は現れている。</li> <li>・将来の力となる子供には、地方債を使ってでも充実した環境をつくるべき。</li> </ul>			
	効率性	評価点数	3.7		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費が心配である。</li> <li>・経費はいくらあっても足りないと思う。</li> </ul>			

教育委員会の事務事業の点検評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	幼児教育・保育の質向上推進事業費	担当課	幼稚園・保育所課	事業No	10
事業費 (H27決算)	2,282 千円	財源内訳	一般財源	327 千円	
			国府補助金等	1,955 千円	
教育振興 大綱の 該当項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進</li> <li>2 子どもを育てる教育環境の充実</li> <li>3 ふるさとを愛する教育の推進</li> <li>4 地域社会で支える教育と子育て支援の充実</li> <li>5 心豊かな生涯学習の推進</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目ない教育の推進</li> <li>・質の高い幼児教育の推進</li> </ul> </div>				
事業目的	0歳から就学前までの質の高い教育・保育の研究・実践を行うとともに、小学校教育との一貫した教育について調査・研究を行い、他市のモデルとなる幼児教育の推進を図る。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳幼児教育ビジョンの策定</li> <li>2. 幼児教育の質向上研修会・勉強会の開催(子どもを主体とした保育、保幼小連携)</li> <li>3. 研修実施のための調査・研究</li> </ol>				
今年度の 取組成果 達成状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳幼児教育ビジョンの策定 策定に向け、保育所・幼稚園・学校・家庭・地域・子育て団体等の代表による懇話会4回、保育所・幼稚園・小学校・中学校の保育士・教員による作業部会5回開催</li> <li>2. 研修会・勉強会・協議開催 16回、延べ約720人参加、公私立・園校種を越え共に学ぶ研修の実施</li> <li>3. 研修実施報告書の作成、文部科学省への調査報告</li> </ol>				
課題	策定したビジョンの普及、参加しやすい研修体制の構築				
今後の 方向性	<p>策定したビジョンの理解や普及を図るため、市民向けの情報発信を行うとともに、保育者・教員への研修事業を実施する。</p> <p>また、乳幼児教育の更なる質の充実を図るため、引き続き平成28年度の文部科学省のモデル事業として採択を受け、乳幼児教育の拠点となるセンターの設置や、各施設の連携の推進、各分野をつなげるコーディネーター機能の整備など、乳幼児教育の推進体制の構築について調査研究を進める。</p>				
評価委員による 事業の評価	必要性	評価点数	4.7		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の教育は将来の基礎となるとても大切なことである。</li> <li>・ここをおろそかにしてはいけないと思う。</li> <li>・幼児教育の理解向上のため、必要である。</li> <li>・PDCAサイクルを継続的に行うことが必要である。</li> </ul>			
	有効性	評価点数	3.7		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・有効性という点ではあまり見えてこない。</li> <li>・保幼小の互いの立場を尊重して、長い目で見守っていくことが必要である。</li> <li>・保護者にも分かりやすく理解してもらえるようにすることが必要である。</li> </ul>			
	効率性	評価点数	3.3		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士、幼稚園教諭の資質向上が必要である。</li> <li>・成果に見合ったコストである。</li> </ul>			

## 4 教育委員会活動の概要



### (1) 教育委員会の開催状況

平成 27 年度の定例教育委員会は原則として月 1 回、臨時教育委員会は必要に応じてそれぞれ下記のとおり開催しました。

○定例教育委員会 12 回（7 月、10 月、1 月は議案審議無し）

○臨時教育委員会 3 回

### (2) 教育委員会審議等状況

平成 27 年度は下記の 28 件の議案について審議しました。

#### 《教育委員会審議案件等一覧》

議案番号	審議事項	審議日
第 16 号議案	舞鶴市教育委員会職員の人事異動について（専決第 2 号）	H27. 4. 28 (定例会)
第 17 号議案	舞鶴市教育委員会基本規則の一部を改正する規則の制定について（専決第 3 号）	
第 18 号議案	舞鶴市学校アドバイザーの委嘱について	H27. 5. 26 (定例会)
第 19 号議案	市議会 6 月定例会への補正予算案の提出について（専決第 4 号）	H27. 6. 22 (定例会)
第 20 号議案	平成 28 年度以降に使用する市立中学校教科用図書採択について	H27. 8. 10 (臨時)
第 21 号議案	教職員の人事案件について	
第 22 号議案	「教育委員会の事務事業に関する点検評価」（平成 26 年度事業）の結果について	H27. 8. 27 (定例会)
第 23 号議案	市議会 9 月定例会への補正予算案の提出について（専決第 5 号）	H27. 9. 29 (定例会)
第 24 号議案	教職員の人事案件について	H27. 11. 2 (臨時)
第 25 号議案	平成 28 年度教職員人事異動の内申方針について（専決第 6 号）	H27. 11. 30 (定例会)
第 26 号議案	「舞鶴市小中一貫教育基本方針」の策定について	
第 27 号議案	市議会 12 月定例会への補正予算案の提出について（専決第 7 号）	
第 28 号議案	舞鶴市郷土資料館条例の一部を改正する条例案の提案について（専決第 8 号）	H27. 12. 25 (定例会)
第 29 号議案	舞鶴市公民館条例の一部を改正する条例案の提案について（専決第 9 号）	
第 30 号議案	個人演説会開催のために必要な設備の程度及び納付すべき費用額（公民館関係）の改正について	
第 31 号議案	舞鶴市指定文化財の指定について	
第 32 号議案	舞鶴市文化財保護委員の委嘱について	
第 1 号議案	舞鶴市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例案に係る意見について（市長への回答）	H28. 2. 5 (臨時)

議案番号	審議事項	審議日
第2号議案	舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例案の提案について	H28. 2. 26 (定例会)
第3号議案	市議会3月定例会への補正予算案の提出について	
第4号議案	舞鶴市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例案に係る意見について（市議会への回答）	
第5号議案	舞鶴市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	
第6号議案	平成28年度舞鶴市一般会計の教育委員会の所掌に係る予算見積書の提出について	
第7号議案	教職員の人事案件について	
第8号議案	舞鶴市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について	
第9号議案	舞鶴市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
第10号議案	舞鶴市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	
第11号議案	平成28年度 教育の重点について	